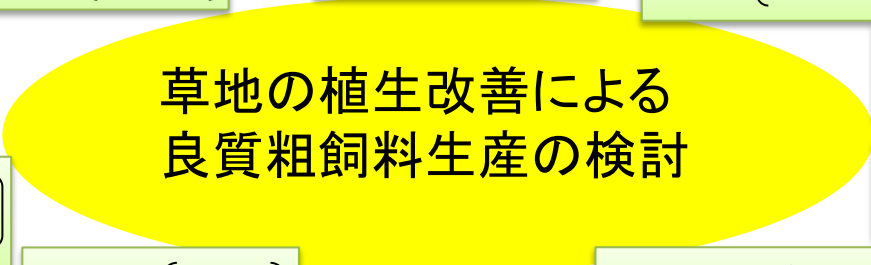


地域の様々な関係者が連携、結集した畜産クラスター事例③ 北海道

天塩町営農対策協議会

地域に適した草地の植生改善手法を普及拡大させ、良質自給飼料の生産性向上による酪農・畜産経営の収益力向上を実現



農業試験場 (実証調査への協力)

酪農家 (実証ほ場設置協力)

JA (資材調達、啓発、営農支援)

天塩町 (全体総括)

乳検組合 (乳量、乳質の検証)



留萌振興局 (関係機関、団体との連絡調整)

機械メーカー (機械提供、技術的アドバイス)

普及センター (普及推進)

NOSAI (飼養管理に関する技術的アドバイス)

飼料・肥料等資材メーカー (技術的アドバイス)



効果

実証内容

○地域に適した植生改善手法(草地更新工法、イネ科強害雑草防除体系、品種の選定等)を農家など関係者の目に見える形で実証・確立
この結果を踏まえ、地域に適した草地の植生改善手法を普及拡大

①経産牛1頭あたりの収益増
良質粗飼料給与による乳量向上

②地域全体での収益増
 $7,907 \text{ 頭} \times 1 \text{ 頭あたり収益増 } 73,396 \text{ 円} = 580,342 \text{ 千円収益増}$

* 1頭当たり乳代約7万円収益性増加
地域全体では、乳代で580百万円の収益増見込み。